

第10回

内藤敏子の奏でる

チターの夕べ

IN TOKONAMEE

～ 温かなチターの音色を常滑の街に ～

Final Concert

諸般の事情により本演奏会は今回をもって終演とします。

そのため、内藤敏子さんの「チターソロ演奏」と、経験から得た

「美しい音楽は人々に喜びや希望、思いやる気持ち、

そして生きるエネルギーとなる」を語っていただきます。

歌田真介 作「常滑の思い出・陶栄窯（登り窯）」

2022年 11月 5日 土

開場：17時 45分
開演：18時 00分

INAXライブミュージアム
「世界のタイル博物館」

◆ 演奏者と楽器の紹介 ◆

内藤敏子 *Toshiko Naito*

チター奏者、及び教育者。幼少の頃よりバイオリンを修行しスイスに留学。チターに魅せられスイス在住十数年間に世界的チター奏者ジェニー・コーザに師事。チター演奏家及び教育者の資格を取得。帰国後は日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする数多くのオーケストラと協演。国内外で年に100回近い公演の他、「NHK名曲アルバム」、「題名のない音楽会」、「NHKおはよう日本」、「ドレミファ・ワンダーランド」、「ラジオ深夜便」などに出演。日本初のチター教育機関を設立し、チターの普及と育成に力を注いでいる。親交のあったアントン・カラス家から「第三の男」に関しての250点にも及ぶ未公開資料を託され、2001年に映画「第三の男」制作50年を記念して「激動のウィーン『第三の男』誕生秘話・チター奏者アントン・カラスの生涯」を出版。また、30年に近い歳月を国立がんセンター中央病院を中心に末期がん患者の方々への演奏と精神的ケア、養護施設などでの公演、保護司会などでの地道な活動が高く評価され、2020年11月に法務大臣感謝状を授与。秋篠宮妃紀子殿下に学習院大学一学年時からチターを約10年教授する。内藤チターアカデミー代表、日本チター協会会長。

チター *Zither*

チター (Zither) という楽器はヨーロッパのドイツ、オーストリア、スイスのアルプス地方を中心に弾かれている伝統楽器。日本の琴 (箏) のようにボディの上に弦が左右横に張られ、5本のメロディー弦と35本前後の伴奏弦がある。机の上に置いて指や爪で弾きメロディーと伴奏を同時に演奏する。皇妃エリザベート、実父マクシミリアン公もチターの名手だった。



◆ 主な演奏曲目 ◆

小さな幻想曲 (A. スメターク)
トロイメライ (R. シューマン)
思い出の映画音楽
シェルブールの雨傘 (フランス民謡)
ひまわり (H. マンシーニ)
ゴッドファーザー「愛のテーマ」(イタリア民謡)
映画「第三の男」メドレー
忘れな草をあなたに

◆ お願い ◆

入館に際して「アルコール消毒・検温・マスク着用」をお願いします。
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、演奏会の延期・内容変更の場合があります。

- ◆ 主催 ◆ チター演奏会実行委員会
- ◆ 協力 ◆ INAXライブミュージアム
- ◆ 後援 ◆ 常滑市、常滑市教育委員会 中日新聞社
知多半島ケーブルネットワーク株式会社

◆ チケット ◆

チケットはINAXライブミュージアムにて予約、販売しております。
詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。

一般・大学生 2500 円 (前売り) 3000 円 (当日)
小中高生 1000 円 (前売り) 1500 円 (当日)

☎ 0569-34-8282 INAXライブミュージアム
☎ 080-1625-1712 (チター演奏会実行委員/宮地 究)

INAXライブミュージアム

愛知県常滑市奥栄町 1-130
<http://www.livingculture.lixil/ilm/>

- 名鉄常滑線「常滑駅」よりタクシーで約6分
- 名鉄常滑線「常滑駅」より知多バス「知多半田駅」行「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分
- 車でのお越しは、知多半島道路・半田ICより約15分

